



# 美ら島とともに



美ら島のために、美ら島とともに  
それが沖縄コカ・コーラボトリングの想いです。

## CSR レポート 2020

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

# CONTENTS

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| ・TOP MESSAGE                          | 03 |
| ・当社のCSR活動 環境・食の安全と健康・地域社会             | 04 |
| ・コカ・コーラシステムの取組みについて ～廃棄物ゼロ社会の構築を目指して～ | 06 |
| ・日本のコカ・コーラシステムとは？                     | 09 |
| 1.安心・安全な製品をお届けするために                   | 10 |
| 2.持続可能な地域を目指して                        | 14 |
| 3.豊かでやさしい地域づくりを目指して                   | 21 |
| ・会社概要                                 | 22 |

## 私たちの企業理念 ワシタ チム グクル

### 社は 誠を尽くす。

#### 経営理念

お客様に満足を

私達は、お客様を最優先に考え、満足を提供し会社の信頼を得ます。

地域社会と共に歩む

私達は、企業の安定成長をはかり、地域社会の繁栄に貢献します。

働きがいのある会社

私達は、健康で明るく活き活きとした働きがいのある会社になります。

#### 行動規範

- ・さわやかな挨拶をしよう。
- ・円滑なコミュニケーションをしよう。
- ・自己啓発をしよう。
- ・積極的にチャレンジしよう。
- ・問題意識を持って行動しよう。
- ・変化に素早く対応しよう。
- ・感謝の心で接しよう。

## 環境理念

沖縄コカ・コーラボトリングは、コカ・コーラシステムの環境方針に従い、コカ・コーラシステム各社とともに、地球規模の環境保全の重要性を認識し、地域における環境の継続的な改善を推進します。

### 環境方針

沖縄コカ・コーラボトリングは、当社の事業活動が環境に与える影響を理解し、持続可能な社会を目指すため、環境マネジメントシステムを導入し、全従業員参加のもとに以下の施策を中心に取り組みを行い、環境目的・目標を設定するとともに、定期的な見直しを図ります。

- 当社に適用される環境関連法規制及び関連する会社の行った協定、約束について厳守します。
- 沖縄県において、持続可能な地域社会の構築を目指します。
- 当社の日々の活動で発生する環境負荷を低減するような活動に取り組めます。
- この方針を当社で働く全従業員に周知し、継続して事業を展開する地域社会の経済発展を促進する取り組みを行います。

#### 編集方針について

本レポートはこれまで取り組んだ内容や活動結果から主要なものを報告しています。コカ・コーラシステムが、世界的に推進する活動や日本国内で行っている活動を紹介するとともに、当社のCSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）に対する取り組みを掲載し、持続可能な活動に繋げることを目的に発行しています。

#### 対象期間・対象範囲

期間：2019年1月 ～ 2020年6月末

範囲：沖縄コカ・コーラボトリング株式会社、グループ会社

# TOP MESSAGE



代表取締役 社長 城 英俊

## 「ハッピー」をお届けし、県民の皆さまから愛され 成長する企業をめざします

新型コロナウイルス“COVID-19”は、戦後最大の危機をもたらしているとも言われ、世界各国で社会情勢を一変させ、未だに収束の兆しが見えない状況です。

当社の事業活動も大きなインパクトを受け、事業計画の大きな見通しを余儀なくされております。

そのような状況の中、

当社は本来の社会的使命を果たすべく、製造面で、浦添工場に最新のアセツティック(無菌充填)ラインの設備投資を行います。県内の製造・製造品を拡大させ、県内経済と雇用の拡大への貢献を果たします。販売活動においては、国際社会の共通目標である「SDGs」をCSR活動の指標に据え、環境に配慮した製品の提供を行い、環境負荷の軽減に取り組んで参ります。

また、次世代の人材育成は、このような厳しい状況においてこそ更に重要性が増す項目です。1966年より継続して支援を行っているコカ・コーラの奨学支援事業の内容充実を図りつつ、引き続き、沖縄の人材育成に寄与できるよう取り組んで参ります。

当社は、コカ・コーラ製品を通して、みなさまに「ハッピー」をお届けし、潤いのあるひと時を提供すべく、満足をお届けして参ります。結果として、私共は地域社会と共に歩む会社を実現することで、沖縄がより魅力的で持続可能な地域になるよう私達の使命を果たして参ります。

# 当社のCSR活動

～ 持続可能な地域社会を掲げる目標にチャレンジします！～

## CSR活動方針

- － 安心安全な製品を提供する事でうまいのある社会づくりに貢献します。
- － 環境保全活動などのCSR活動を積極的に行う企業風土を育てます。
- － 事業活動を通して、持続可能な地域社会貢献活動を推進します。
- － SDGsの活動と連動したCSR活動の指標および目標達成に取り組んでいきます。

CSR活動の3つの領域「環境」「食の安全と健康」「地域社会」において、  
SDGsの目標を達成するため、  
当社を取り巻く地域の人々とのパートナーシップを大切に、  
地域・社会の課題解決に貢献します。



## 環境

ウチナーの持続可能な地域環境を次世代へ

世界有数の自然に育まれた沖縄の価値ある自然を次世代へ。

- 水資源保護活動の推進(取水管理・水質管理・効率的活用・排水管理・水資源保護)  
製造工程における水使用量の削減、製造過程で使用する水の循環、排水管理
- 国頭村水源保護活動協定の締結
- 「い・ろ・は・す」水資源保全プロジェクト
- 環境教育の推進(コカ・コーラ環境教育賞)
- 首里城公園友の会様イヌマキ育樹祭支援
- コカ・コーラ森に学ぼう in 大宜味村(植樹・育樹：2006年森に学ぼうin国頭村から継続)
- ヤンバルクイナ保護活動プロジェクト
- コージェネレーションシステムの導入によるエネルギーの効率利用
- 浦添工場での廃熱再利用によるCO<sub>2</sub>削減
- 沖縄県CO<sub>2</sub>吸収量認証制度の取得
- ピークシフト・ノンフロン自販機の推進
- サステナブル・パッケージ：B to B(ボトル to ボトル)の使用
- グリーン調達製品の購入



育樹での森作り  
2006年開始  
約4,300本  
(累計)

「森に学ぼう」  
参加人数  
約5,100人  
(累計)

「い・ろ・は・す」  
水資源保全プロジェクト  
参加人数  
約400人  
(累計)



# 食の安全と健康

安全安心な製品の提供による、お客さまの健康とハピネスに貢献

高品質で安心安全な製品の提供による健康でうまいのあるライフスタイルへの貢献。

- 豊富な製品ラインナップ(特定保健用食品・機能性表示食品)
- 品質を守る独自の基準「KORE」でオペレーションを管理
- ISO14001など国際規格の遵守
- お客様とのコミュニケーション(お客様対応：ISO10002適合宣言)
- 地産地消を応援(沖縄さわやか会)
- 容器の2030ビジョン(廃棄物ゼロ社会に向けての取組み)



年間  
製造本数  
約820万本  
2019年

年間  
製造アイテム数  
97種類  
2019年

沖縄  
限定製品  
5種類

## 地域社会

うちなーんちゅ企業として取り組む地域活動

沖縄が発展してこそ沖縄コカ・コーラボトリングは成長を果たすことができます。  
沖縄県下で行われている様々な活動のお手伝いを通して、  
多様性への取組みや地域のニーズに応える活動に取り組んでいます。

- 地域活性化のお手伝い(スポーツイベント、お祭り、文化活動などへの協賛)
- 災害支援のインフラ(自治体との災害物資協定・災害支援自販機による飲料無償提供)
- 自販機を活用した地域・社会貢献活動支援(各種支援自販機・各種寄付型自販機)
- 地域環境活動(緑化活動・ごみゼロ清掃活動・牧港川クリーンアップ・海岸清掃)
- 奨学支援事業(返済義務のない給付型奨学金)
- 環境教育の活動の推進(森に学ぶプロジェクト・環境教育賞の懸賞活動)
- 職場における労働安全の取組み
- 子ども食堂などへの製品の提供



市場展開  
自動販売機数  
約11,000台  
2020年4月

地域貢献型  
自動販売機数  
約300台  
2020年4月

奨学金給付額  
約6,600万円  
(累計)  
2020年3月

# コカ・コーラシステムの取組みについて

～ 廃棄物ゼロ社会の構築を目指して ～

## World Without Waste（廃棄物ゼロ社会） - 容器の2030年ビジョン -



日本のコカ・コーラシステムでは廃棄物ゼロ社会を目指し、「設計」「回収」「パートナー」の 3つの柱からなる「容器の2030年ビジョン」を策定しました。

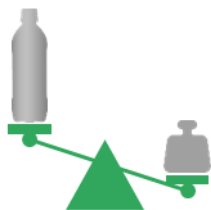
2019年7月には、「ボトル to ボトル」の推進などを通じ、2030年までにすべてのPETボトルを100%サステナブル素材に切り替えることなどを骨子とした、日本独自の新たな数値 目標を設定、その実現に向け取り組んでいます。

### 「容器の2030年ビジョン」 (2019年7月更新)

|                | 設計                                                                                            | DESIGN                                                        | 回収                                    | COLLECT | パートナー                                                     | PARTNER |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------|---------|
|                | ボトル to ボトル (※1) / サステナブル素材                                                                    | PET樹脂の使用量                                                     | 回収                                    |         | さまざまな取組                                                   |         |
| 2019 年<br>(現在) | <p>「ボトル to ボトル」の割合 (2018年実績)</p>                                                              |                                                               | <p>容器を適切に回収</p>                       |         | <p>完全循環型PETボトルリサイクルを実現<br/>「一（はじめ）緑茶 一日一本」</p>            |         |
| 2022 年<br>までに  | <p>「ボトル to ボトル」の割合</p>                                                                        |                                                               |                                       |         |                                                           |         |
| 2025 年<br>までに  | <p>すべての製品のPETボトルに、<br/>リサイクルPET樹脂または植物由来PETを使用</p>                                            |                                                               |                                       |         |                                                           |         |
| 2030 年<br>までに  | <p>「ボトル to ボトル」の割合</p> <p>すべてのPETボトルを、<br/>リサイクルPET樹脂または<br/>植物由来PET樹脂に切り替え<br/>新規化石燃料ゼロへ</p> | <p>35%削減</p> <p>製品1本あたりの<br/>PET樹脂 (※2) の使用量<br/>(2004年比)</p> | <p>国内で販売した自社製品と<br/>同等量のPETボトルを回収</p> |         | <p>さまざまなパートナーと連携し、<br/>より着実な容器回収・<br/>リサイクルスキームを構築・維持</p> |         |

## PETボトルは優れた容器！

軽量



軽くて持ち運びに**便利**

再栓可能



再栓ができて**衛生的**

再資源化

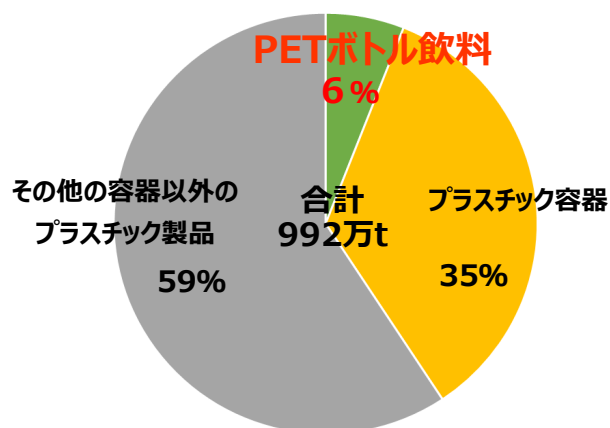


リサイクルすれば**資源に**

## プラスチック製品・PETボトルの現状！

普段の生活に欠かせないプラスチック製品は、日本国内で年間およそ992万tが使用されています。

そして、国内におけるプラスチック製品のうち、容器が全体の約35%8344.2万tを占め、PETボトルの割合は、**全体の6%**(62.6万t)です。

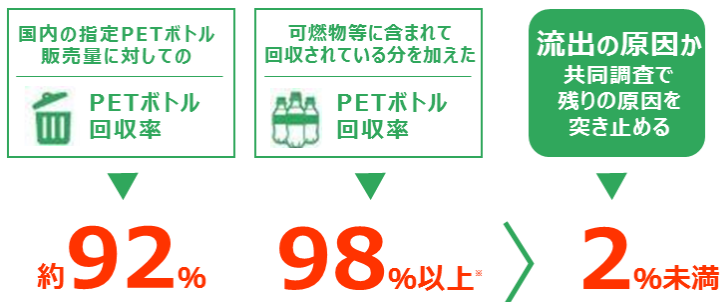


## 日本のPETボトルの回収率は？

日本のPETボトルの**回収率は98%以上**と推計。

河川や海などにごみとして流出されているのは、残りの2%未満のうちの一部と考えられます。

この2%がどこから流出しているのか、リサーチを行っています。



## 高水準を誇るPETボトルリサイクル！

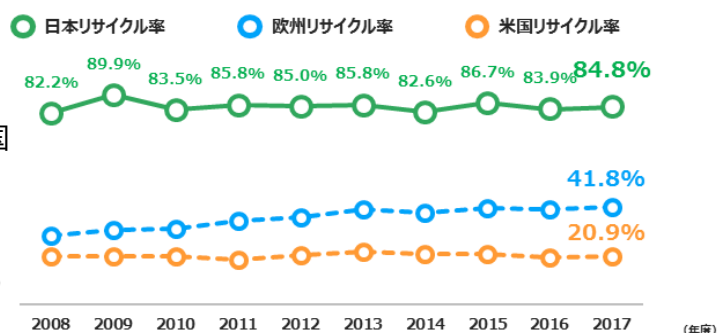
PETボトルリサイクル率

▶ **84.8%**

日本のPETボトルの**リサイクル率は84.8%**で、米国や欧州に比べても、非常に高い水準を誇っています。

日本のリサイクル率が高い理由は、1995年に制定された容器包装リサイクル法（容リ法）に則った回収の仕組みと国民の高い意識があるためです。

### 日米欧のPETボトルリサイクル率の推移\*



※PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書 2018 図5より

## 「ボトル to ボトル」の推進

### 100%リサイクルペットボトルを国内最大規模で展開 次世代ペットボトルが登場！



コカ・コーラシステムでは、使用済みPETボトルから新しいPETボトルを生み出す「ボトル to ボトル」を推進しています。

2020年3月には「い・ろ・は・す 天然水」に「ボトル to ボトル」によるリサイクルPET樹脂を100%使用した容器を導入。

石油由来100%のPETボトルと比較して、1本あたりのCO<sub>2</sub>排出量を**49%削減**し、環境負荷のさらなる低減に成功しています。

2019年の実績では、コカ・コーラシステムの全PETボトルに用いられている原材料のうち、リサイクルPET樹脂の比率は約21%。

この「ボトル to ボトル」比率を、2022年には50%、**2030年には90%**にまで高めます。

#### 「い・ろ・は・す 天然水 100%リサイクルペットボトル」が実現する環境への配慮

1

PETボトルを資源として  
循環利用する  
「ボトル to ボトル」

使用済みPETボトルをリサイクルし、  
新たなPETボトルへ生まれ変わらせることで、  
資源を最大限活用



2

年間で自動車およそ  
4,000台分の重さに相当する  
石油から新規に製造される  
プラスチックの使用を削減

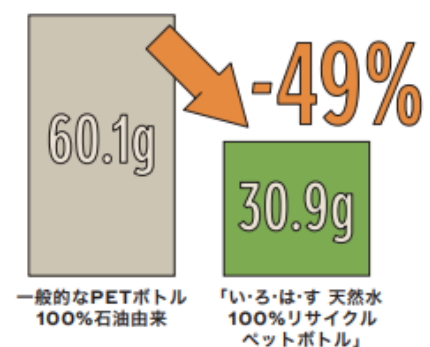
石油から新規にされるプラスチックの  
使用を大規模に削減し、環境負荷  
を軽減



3

PETボトル1本あたりの  
CO<sub>2</sub>排出量を  
49%削減

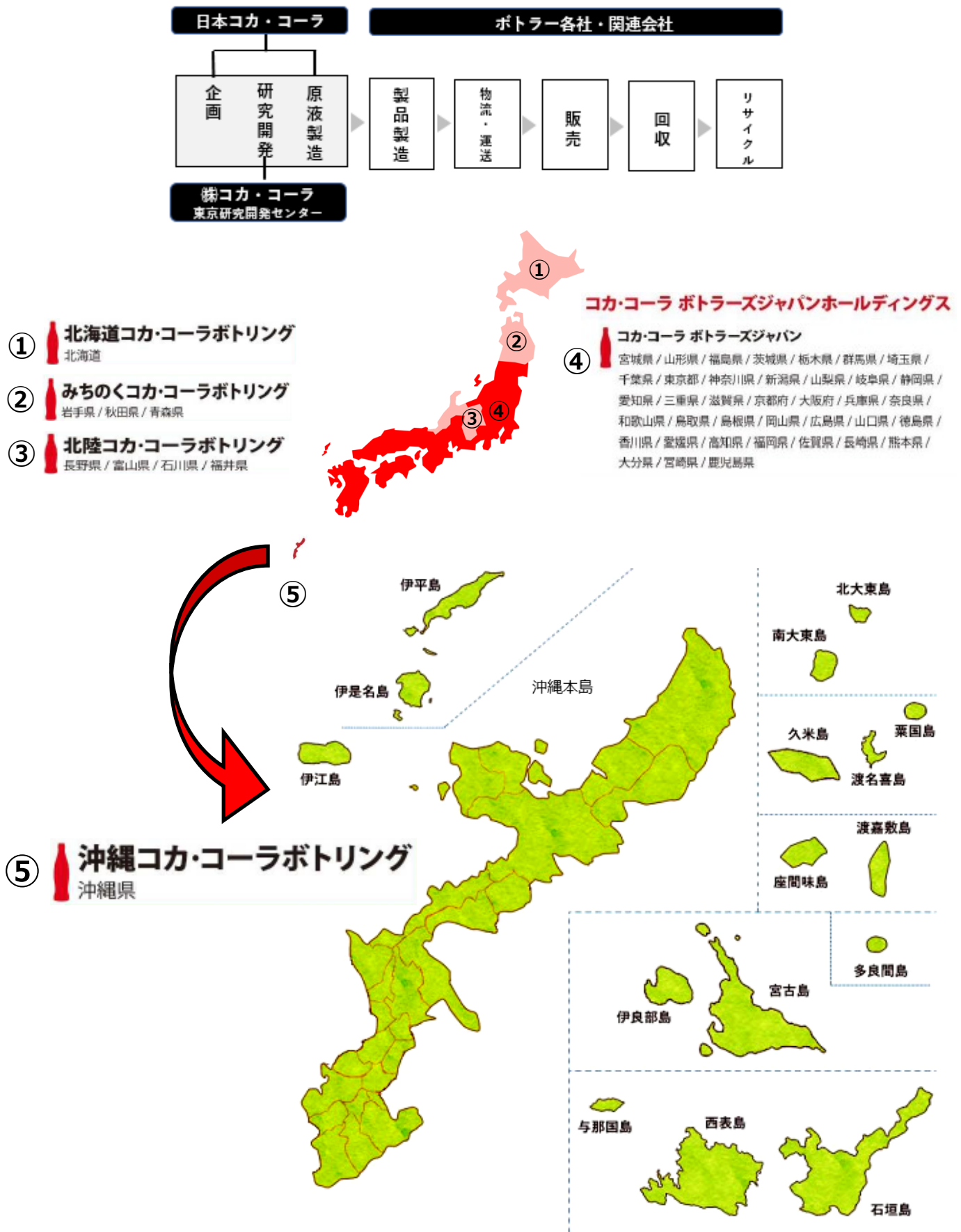
一般的なPETボトルと比較して、  
PETボトル1本あたりのCO<sub>2</sub>排出量  
を49%削減し、環境負荷を低減





# 日本のコカ・コーラシステムとは？

日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発や広告などのマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売を行う5つのボトラー会社および関連会社で構成されています。





# 1. 安心・安全な製品をお届けするために

## お客様の期待に応えるために

### コカ・コーラ、全世界共通の基準「KORE」管理体制 ～ マネジメントシステム「KORE」とは ～

コカ・コーラシステムは、2010年より世界共通で「KORE (Coca-Cora Operation Requirements)」と呼ばれる独自のマネジメントシステムでオペレーション管理を行っています。

「KORE」の品質・食品安全・環境項目の要求基準は、国際要求基準ISOより厳格なものとなっています。

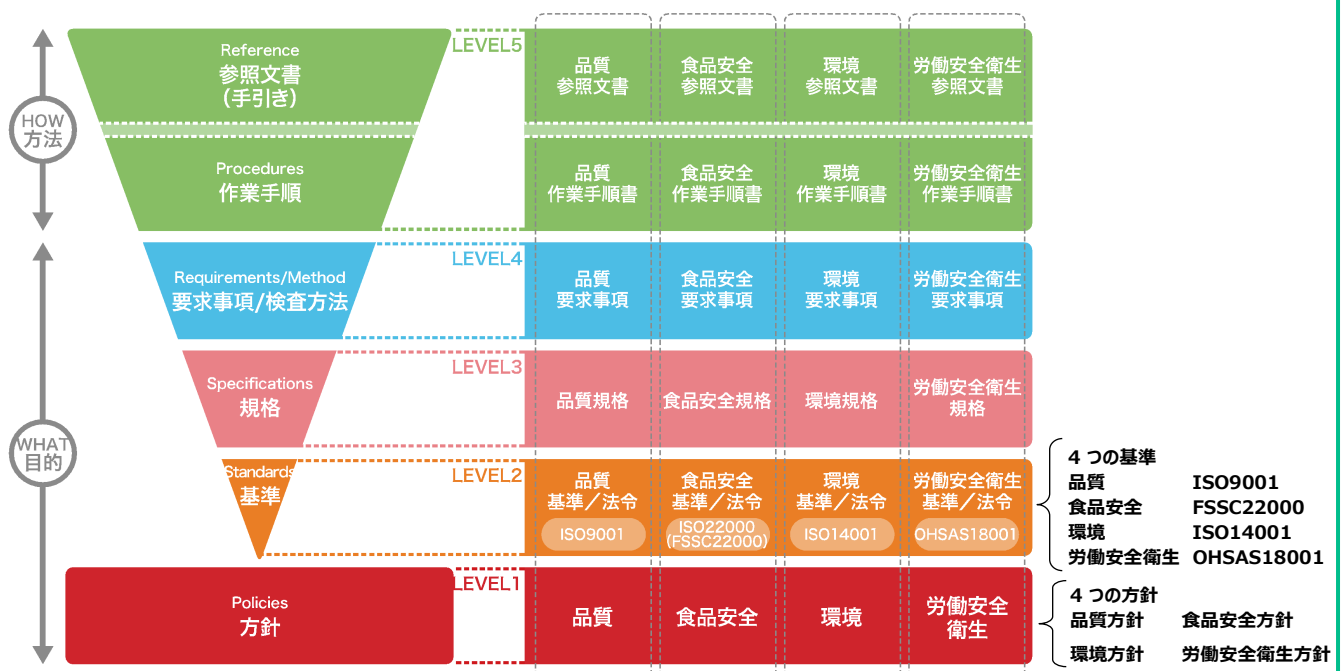
「KORE」は原材料の調達から製造、物流・輸送、販売を経てお客様に製品が届くまでの過程における「品質」「食品安全」「環境」および「労働安全衛生」という4つの要素があり、各々には、「方針」「基準」「規格」「要求事項」「作業手順/参照文書」という5つの階層があります。

オペレーションのチェック機能は、審査登録機関による各要求事項へのパフォーマンス測定が少なくとも年1回行われ、社外第三者からの客観的評価が加わることでマネジメントシステムの公明・公正な運用が保証されています。

## KORE (Coca-Cora (KO<sup>※</sup>) Operation Requirements)

※「KO」は、ニューヨーク証券取引所に上場しているザ コカ・コーラ カンパニーの略称です。

### 「KORE」マネジメントシステムフレームワーク図



# 安心安全な製品をお届けするために

品質、食品安全、労働安全、環境の4側面のISOを取得しました。  
ISOの基準よりもさらに厳しい「KORE」要求事項（世界共通のコカ・コーラ要求事項）に沿って製造を行っています。

- ・ISO9001（品質マネジメントシステム）認証取得
- ・FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）認証取得
- ・OHSAS18001（労働安全マネジメントシステム）認証取得
- ・ISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得



ISO9001



FSSC22000



OHSAS18001



ISO14001

## お客様とのコミュニケーション

### お客様満足のための基本方針

私たち沖縄コカ・コーラボトリング株式会社は、あらゆる企業活動を通して地域の皆様に「爽やかさと潤い」をお届けしたいと考えています。

お客様とのふれあいを大切に、安全で安心できる製品、サービスを提供するとともに、お客様の声を積極的に企業活動に活かし、行動指針に基づきお客様から信頼される企業をめざしてまいります。

### 行動指針

- ・お客様からの声を真摯に受け止め、迅速且つ適切に誠意を持って対応します。
- ・お客様からのご指摘・ご要望を重要なコミュニケーションの機会ととらえ、正確な情報収集と積極的な情報提供を行います。
- ・お客様とのコミュニケーションを大切に、お客様の声を積極的に企業活動に活かしコカ・コーラファンになって頂ける企業を目指して行きます。
- ・お客様からのご意見は貴重なものとして社内で共有し、製品・サービスの向上に反映させます。
- ・お客様の権利を保護するため、関連する法規及び社内の自主基準を遵守いたします。

## お客様対応フロー図

苦情対応プロセスの適合性に関する第三者意見書

〒100-0004  
東京都千代田区千代田1-1-1 大手町フォーカスビルディング  
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社は、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセス（ご指摘対応マネジメントシステム、以下同じ）の適合性に関し、第三者評価を行った。以下にその見解を表明する。

#### 1. 評価目的

第三者評価の目的は、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社が構築した苦情対応プロセスが、JIS Q 10002:2015 (ISO 10002:2014)「品質マネジメント—顧客満足—組織における苦情対応のための指針」の要求事項に適合しているか否かの検証を行い、その内容について第三者の立場から見解を表明することである。

#### 2. 評価日

2019年8月19日

（前回評価：意見書番号CMS-EA-2016-CC03、評価日 2016年7月29日）

#### 3. 評価方法

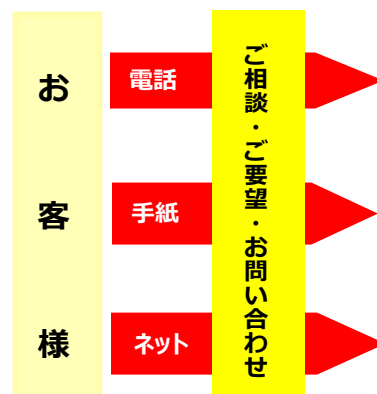
- (1) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセス関連文書や苦情対応記録、その他根拠となる内部資料を用い、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスが、JIS Q 10002:2015(ISO 10002:2014)に準拠して構築されているか否かを検討した。
- (2) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスが、苦情対応プロセス関連文書に準拠して運用され、維持されているか否かを、関係者へのヒアリング、ならびに活動記録などの根拠となる内部資料をもとに検討した。

#### 4. 評価の結果

第三者評価の結果から、以下の通り第三者意見を表示する。

- (1) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスおよび苦情対応プロセス関連文書は、JIS Q 10002:2015 (ISO 10002:2014)に適合した内容となっていると判断する。
- (2) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスは、同社の苦情対応プロセス関連文書に準拠して運用され、維持されていると判断する。

以上



<https://j.cocacola.co.jp/info/>

### ●製品、マーケティングの お問い合わせ

〒150-0002  
東京都渋谷区渋谷4-6-3  
日本コカ・コーラ(株)  
お客様相談室



0120-308509



沖縄コカ・コーラ  
ボトリング(株)

## 沖縄の環境に配慮

### 県内清涼飲料業界、初の産業用コージェネレーション

当社では製造工程で大量のエネルギーを使うことから、省エネルギー化やCO<sub>2</sub>削減が大きな課題となっていました。沖縄県内の限られた需要に対して、一つの工場において多品種、小ロット生産とならざるを得ず、生産計画変動によるエネルギーコストをいかに抑えるかに苦慮していました。その背景もあって、2017年産業用コージェネレーションを導入し、省エネ環境に配慮した取り組みを推進しています。



コージェネレーションシステム

#### コージェネレーション導入のポイント

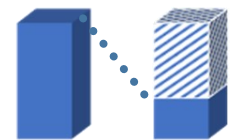
- ①ピークカットで電力コストを削減
- ②CO<sub>2</sub>排出量削減



工場廃熱再利用システム

### 環境に配慮したものづくりへのチャレンジ

水使用効率で  
27.1%改善



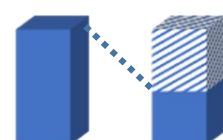
2012年 2019年  
原単位:(m<sup>3</sup>/kl)

エネルギー効率で  
2.1%改善



2012年 2019年  
原単位:(MJ/kl)

CO<sub>2</sub>排出削減効率で  
14.8%改善



2012年 2019年  
原単位:(kgCO<sub>2</sub>/kl)

## 水資源保護活動の推進

### コカ・コーラシステムが考える水の循環

当社は貴重な県内の水源を活用し事業活動を行う企業として、製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めています。

当社が製品を造る過程で使用する水は、「製造に使用する水」と、「製品になる水」の、大きく二つに分けられます。その中で、製造過程での水使用量の削減「リデュース（Reduce）」、製造過程で使用する水の循環「リサイクル（Recycle）」、そして、地域の水資源涵養「リプレニッシュ（Replenish）」と水の効率利用に取り組んでいます。

「製造に使用する水」である洗浄水や冷却水の一部は、使用量を削減したり、再利用を行い最終的に適正な処理をした上で河川に放流しています。「製品になる水」は、本島北部のダム近隣で植樹・育樹などの活動を通じて、水源の涵養能力を高めることで、自然への還元を図っています。



## 「森」と「水」の大切さを学ぶ

### コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト

当社は2006年より沖縄本島最大の水資源である本島北部やんばるのダム近隣で、行政・自治体・地域ボランティアの皆さんと一緒に継続して植樹・育樹活動を行なっています。

水の源である森林について「知る」、森林の大切さを「学ぶ」、植樹・育樹を通して「体験する」ことで、自然の大切さを次世代へつなぐ環境教育活動の機会に取り組んでいます。



2019年7月活動



大宜味村大保ダムにて



辺土名高校環境クラブの皆さん

### 首里城公園友の会様のイヌマキ育樹祭を応援！

首里城公園友の会様は、50年・100年先の首里城の大修理の際に沖縄で育てたイヌマキ（方言名:チャージ）を使って欲しいという願いと、辺野喜ダム近隣の荒れた土地にイヌマキの植樹と育樹を通して緑の空間にすることで、やんばるの緑化につなげたいとの想いで、活動を行なっています。

2017年より、当社も首里城公園友の会様の趣旨に賛同し、年2回の育樹祭に社員・社員家族で参加し汗を流しています。沖縄の歴史と文化を象徴する首里城の未来に想いをこめて。



2019年8月



2020年2月

### 「い・ろ・は・す」水資源保全プロジェクト

～首里城公園友の会様を支援～

「い・ろ・は・す」の売上金の一部は、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団を通じて、日本の各地で水資源保全活動を行っている団体に寄与され、その活動を支援しています。

当社では、「首里城公園友の会」の「イヌマキ育樹祭」を支援しています。





## 2. 持続可能な地域を目指して

### コミュニティ活動

#### 美化・清掃活動

「牧港川清掃」や「キャンプキンザーの漂着ゴミ回収」「新入社員海岸清掃」などを、持続可能な開催に向けたモデル事業として清掃活動を実施しました。



2019年11月  
牧港川クリーンアップ



2019年12月  
浦添西海岸里浜ビーチクリーン



2020年4月  
新入社員大宜味海岸クリーンアップ

#### green birdとの協働 ～ごみゼロの日～

『ごみゼロの日』の5月30日、NPO法人 green birdと協働で那覇市役所前からスタートし、「国際通り」のクリーンアップ活動をおこないました。

「green bird」とは、“きれいな街は、人の心もきれいに”をコンセプトに、街の美化活動をおこなう団体です。現在その活動が日本各地はもちろん、海外まで広がりをみせています。



那覇市国際通り



2019年5月30日

#### 全島緑化県民運動 ～「緑のボランティア」～

「緑のボランティア」活動とは、道路沿いの花壇を除草・清掃・花苗植え付け・管理を行ない、地域の美化・緑化の活動を行うものです。

当社・機器サービス部は、「緑のボランティア」として、道路緑化活動をおこなっています。



## 奨学支援

コカ・コーラシステムの奨学支援事業の歴史は1966年まで遡ります。

「公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団」では、人物・学力ともにすぐれ、経済上の理由で大学進学が困難な事情にある学生に対し、教育支援として大学在学期間に、返済義務のない給付型奨学金を授与しています。

また、沖縄コカ・コーラは1973年より独自の支部採用枠を設け、奨学金支給を開始し112名の卒業生を送り出しました。



新型コロナの影響を鑑み、  
学校訪問での授与式



### 本部採用/糸満高校・金城 万星愛さん

このたびはコカ・コーラさんの奨学生に選ばれたことをとても嬉しく思っています。

進学先での生活が不安でしたが奨学金を貰った分、勉強に割く時間が増えるので人一倍頑張りたいと思っています。

学校での証書授与の際、皆さんよりあたたかいお言葉をいただけて、本当に本当に嬉しく感謝してもしきれないです。

これまで頑張ってきたことが報われて、これからも奨学生として恥じないよう精進していきます。

また、高橋会長のお言葉を胸に大学では知識だけでなくEQも身につけ、将来は私もコカ・コーラさんのように、人に寄り添って思いやりのある仕事をやりたいです。

大学で沢山学んで将来立派な社会人になります。本日は本当にありがとうございました。

### 支部採用/南部農林高校・仲村 実優さん

私は高校3年間、学校の部活動であるバイオテクノロジー部でプロジェクト活動に取り組みました。

2年生の時、コカ・コーラ環境教育賞のフォーラムに参加して最優秀賞を受賞できたことをきっかけに、このプロジェクト活動で身につけた知識や技術を地域の農業のために活かしていきたいという思いが強くなりました。

今後もこの気持ちを忘れず、将来は植物病理学の研究者として沖縄県の農家を支援していきたいと思っています。

この夢を実現させるためには大学で研究活動に励み、沖縄県の農業ではどのような取り組みが求められているのかを知ることが必要です。自分の興味のある分野を最大限に活かしていくために基礎的な勉強にも力を入れていきます。

最後に奨学生として、私を支えてくださった方々の期待を裏切らないよう、充実した大学生活を過ごしたいと思っています。ありがとうございました。

### 支部採用/向陽高校・山本 風彩さん

高校とは違い学校でかかる費用と同時に生活費も自分でまかなっていかなければならない大変な状況の中で、コカ・コーラの奨学金をいただくことができるのは本当にありがたいことだと感じています。

お金は有効に使わせていただき、将来社会に貢献ができるよう大学での勉強に日々励んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

## 環境教育賞（2019年）

1994年に設立されたコカ・コーラ環境教育賞は、地域に根ざした環境教育ボランティア活動の助成・支援を通じた環境教育・環境保全の促進を目的として行われています。

第26回目を迎えた2019年度は全国より68団体の応募があり、北海道夕張郡栗山町コカ・コーラ環境ハウスで行われた、最終選考会ではノミネートされた15団体の活動報告が行なわれました。

選考結果「活動表彰部門」において、八重山郡竹富町の「西表ヤマネクラブ」が優秀賞を受賞しました。



優秀賞 西表ヤマネクラブ



北海道夕張郡栗山町 コカ・コーラ環境ハウス



## 環境教育賞最優秀受賞報告 (2018.12.24)

第25回コカ・コーラ環境教育賞で最優秀賞を受賞した『南部農林高等学校生物資源学科バイオテクノロジー部』が県庁を訪問し、平敷教育長に最優秀賞受賞報告を行いました。

バイオテクノロジー部が実践してきたこと、生産性の高い甘藷（ぐしちゃんいい菜）のバイオ苗づくり、地域の小中学校への出前授業の企画、農家への優良苗の供給と地域普及を目指した取組みなど、活動報告をしました。



前列中央 平敷教育長、後列右手 與那嶺校長先生と一緒に！



北海道・コカ・コーラ環境ハウスにて！

### ～ 担当教諭からの手紙 ～



コカ・コーラ環境フォーラムに参加して

南部農林高等学校  
教諭 徳永 公男 様

本校生物資源科のバイオテクノロジー部は、芋農家からの研究依頼を受け、甘藷のバイオ苗作出に関する研究を行ってきた。研究目的は、農家の収益向上、担い手不足の改善、農業産業振興に伴う農村景観の改善（耕作放棄地の改善）、また健全苗栽培に伴う減農薬農業の推進による自然環境への負担軽減である。そこで今回、第25回コカ・コーラ環境教育賞に応募させて頂いた。

今年の環境フォーラムは台風の襲来により、8月の実施予定から急遽12月の開催となった。

真冬の北海道ということで出発前から寒さに対する不安が大きかったが、雨煙別小学校へ向かうバスの中から見た一面の銀世界に、生徒と共に興奮を抑えられなかった。

夕食会での懇談会、雪山での自然体験、各団体の壁新聞や研究発表と、どれも素晴らしい体験ばかりで、本校生徒も新たな出会いと学びに感動している様子であった。

今回の学習や体験を活かし、今後も地域の農業産業振興と環境問題に貢献する研究と指導に尽くしていきたい。

## 環境教育賞優秀賞 (2018.12.24)

### ～ 6年生保護者からの手紙 武田 美幸 様 ～

感謝しております。一番にコカ・コーラの方へ伝えたい言葉です。

子ども達にヤンバルクイナの調査を発表する機会を作って頂き本当にありがとうございました。

北国小学校の近くでは、珊瑚や海ガメの産卵が見られたり、鯨がブリーチング（大きなジャンプをすること）してるのに出会えたりします。恵まれた豊かな自然は、子ども達にとっては日常でもあります。

子ども達は、何のためにヤンバルクイナの調査をしているのか？

漠然と続けていたのが、木片チップを敷いてロードキルを防ぐ事などがやんばるの動物や自然を守り、次世代へ継ぐ大切な活動だと気づいたようです。

目標を持ち、様々な事にチャレンジすれば、楽しみや達成感が増すのを実感したのだと思います。

更に北海道での全国の子どもたちとの交流は、娘の視野を大いに広げてくれました。

これからも、貴社の益々のご発展をお祈りしております。



2019年 北国小学校正門前

### ～ 学校長からの手紙（抜粋） ～



Creative 創り出す力

北国小学校

～コカ・コーラ環境教育フォーラムに参加して～

校長 金城 明美 様

北海道栗山町の大自然とコカ・コーラ環境教育が育てて下さったのは、「Creative 創り出す力」でした。

北国小の子ども達は、初めて触れる山々の大自然や空から降りてくる雪の柔らかさに大喜びでした。さらに、全国から集まった参加者とのフォーラムは、地球環境へどんなアイデアを実践するかという気持ちをワクワクと奮い立たせるものでした。まさに、今、深い学びを展開している学校教育に繋がる、創り出す力（Creative）を学ぶ絶好の機会になったと思います。

北国小は、森だけでなく海も豊かです。地域では、毎年海岸清掃を続けています。ゴミを分別し片付けるのは結構大変ですが、地球環境のことを考えると大切な清掃と分別です。コカ・コーラフォーラムでも水の再利用方法やゴミの分別方法を学びました。

南の沖縄から北の北海道を訪れ、地球規模を感じながら、自分達のやってきたことが認められたフォーラムは、子ども達の人生にとって素晴らしい基礎となりえる創り出す力を育てて下さったと思っています。審査委員長の小澤紀美子先生の「皆さん、Creativeを期待します」が、心に響きました。

ちょっとした子ども達のアイデアを尊重し、創り出す力を育てることが地球には重要なのだと感じました。

フォーラムに参加できると決まった時、子ども達は遠い北海道へ向かうことにちょっぴりドキドキ感をわせながら、楽しく準備することができました。またフォーラムに向けて、沖縄コカ・コーラ高橋会長に国頭村北国小まで足を運んで下さり児童に激励して頂きました。

Creativeなコカ・コーラフォーラムに感謝です。ありがとうございました。



## 社会貢献活動の支援

### 首里城への義援金を県へ



令和元年10月31日未明、県民にとって象徴的な建造物である首里城が消失・崩落しました。

琉球の歴史のシンボルを失った火災に対し、首里城の修復再建に向けた励ましや支援の申し出が多数寄せられている中、当社及びコカ・コーラグループ従業員からの募金、株主の丸仁ホールディングスを含め義援金の目録を玉城知事に手渡しました。

### 『こんなときこそ、コカ・コーラにできること。』

#### ～ 県内医療機関等へ、コカ・コーラ製品を寄贈 ～

当社は、新型コロナウイルス感染症と懸命に向き合う医療現場の方々への、感謝と激励の思いを込めて、沖縄県内の感染症指定医療機関6箇所及び関連医療機関へ、コカ・コーラ社製品 26,000本余を寄贈しています。

この取り組みは、日本のコカ・コーラシステムが、公益社団法人日本医師会を通じて全国の感染症指定医療機関などに対し清涼飲料約130万本寄贈する「Refresh Japan」プログラムの一環となります。

#### 「Refresh Japan」

感染防止に尽力されているすべての皆様、  
診断や治療にあたられている医療関係の皆様へ  
心からの敬意と感謝を込めてお届けします。



県庁にて



浦添市役所にて

### スポーツやイベントで地域に活力を

沖縄の代表的なマラソンなどのスポーツや、地域ごとの特色をもった勇壮かつ優美な舞としてのエイサーなど、多くの人々を魅了するイベントは、地域との関わりやつながりを大切にしています。

#### 主な協賛イベント

| イベント名           | 協賛開始年        | 備考        | イベント名              | 協賛開始年        | 備考         |
|-----------------|--------------|-----------|--------------------|--------------|------------|
| NAHAマラソン        | 昭和60年(1985年) | 第1回大会より協賛 | 沖縄全局エイサーまつり        | 昭和43年(1968年) | 第13回大会より協賛 |
| 全日本トライアスロン宮古島大会 | 昭和62年(1987年) | 第1回大会より協賛 | 那覇大綱曳(那覇まつり)       | 昭和46年(1971年) | 第1回大会より協賛  |
| いげな88トライアスロン大会  | 昭和63年(1987年) | 第1回大会より協賛 | 那覇ハーリー             | 昭和50年(1975年) | 第1回大会より協賛  |
| 中部トリムマラソン       | 平成元年(1989年)  | 第1回大会より協賛 | 浦添でこまつり            | 昭和54年(1979年) | 第1回大会より協賛  |
| 久米島マラソン         | 平成元年(1989年)  | 第1回大会より協賛 | 海洋博公園花火大会          | 昭和54年(1979年) | 第1回大会より協賛  |
| 宮古島100kmワイドマラソン | 平成3年(1991年)  | 第1回大会より協賛 | とみくす祭り             | 昭和56年(1981年) | 第1回大会より協賛  |
| おきなわマラソン        | 平成5年(1993年)  | 第1回大会より協賛 | 与那原大綱曳(与那原まつり)     | 昭和58年(1983年) | 第1回大会より協賛  |
| 伊江島一周マラソン大会     | 平成5年(1993年)  | 第1回大会より協賛 | ピースフルラブ・ロックフェスティバル | 昭和58年(1983年) | 第1回大会より協賛  |
| 伊平屋ムーンライトマラソン   | 平成6年(1994年)  | 第1回大会より協賛 | シーボートちゃんカーニバル      | 昭和62年(1987年) | 第1回大会より協賛  |
| 石垣島マラソン大会       | 平成7年(1995年)  | 第1回大会より協賛 | うるま市エイサーまつり        | 平成18年(2006年) | 第1回大会より協賛  |
| あやはし海中ロードレース    | 平成13年(2001年) | 第1回大会より協賛 |                    |              |            |
| 尚巴志ハーフマラソンin南城市 | 平成14年(2002年) | 第1回大会より協賛 |                    |              |            |
| いとまん平和トリムマラソン   | 令和元年(2019年)  | 第1回大会より協賛 |                    |              |            |

## 地域を盛り上げる、沖縄限定製品

### 時代のニーズに合わせたラインナップ

当社は、時代のニーズに合わせた多様な製品ラインナップで沖縄の皆さまの生活をサポートしていきます。



●コカ・コーラ スリムボトル  
(沖縄限定デザイン)



●紅茶花伝  
ガーデンレモンティー



●紅茶花伝  
ガーデンシークワーサーティー



●ファンタ  
シークワーサー



●茶流彩彩  
さんぴん茶

### 新しいライフスタイル、進化するアプリ

「Coke ON」は、アプリ内でスタンプを15個ためて1本分のドリンクチケットを獲得できる、おトクで便利なコカ・コーラの公式スマホアプリです。

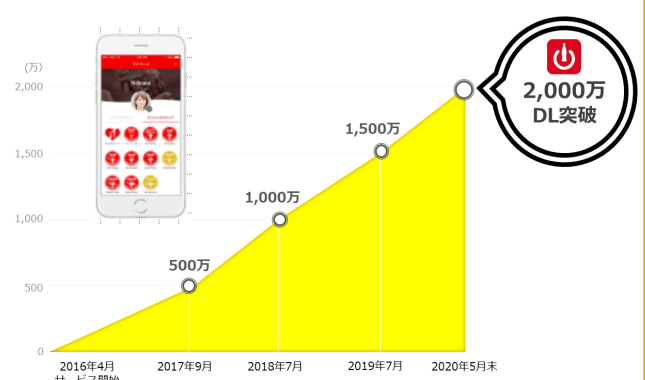
例えば、歩くだけでスタンプがもらえる「Coke ONウォーク」なら、皆様の健康的な習慣づくりを楽しくおトクにサポートできます。ご自身の生活やペースに合わせて、一日の歩数目標を設定できるため、着実に皆様の日常生活の中で健康的な習慣づくりに活用いただけます。

15スタンプで獲得したドリンクチケットは、Coke ON対応自販機で、すべてのコカ・コーラ社製品と交換できます。もちろん、トクホや機能性表示食品のドリンクも対象です。

また、現金だけではなくSuicaなど交通系電子マネー、楽天Edyなど複数の電子マネーがご利用いただけます。

※電子マネー読み取り用のパネルなどが目印です。

県内でのCoke ON稼動自動販売機は1,968台（2020年5月現在）に達しています。



## 地域に貢献する自動販売機



災害対応型

### 災害対応型自動販売機

コカ・コーラシステムでは、大地震などの災害によりライフラインが被害を受けた際、清涼飲料水を無償で提供できる『災害対応型自動販売機』を設置しています。

各自治体との「災害時における救援物資提供に関する協定」を締結し、住民の避難場所となる施設を中心に設置され、地域社会を応援しています。

### 地域貢献型自動販売機

当社は、さまざまな『地域貢献型自動販売機』を展開しています。

これは、自動販売機の設置契約者さまのご協力で、自動販売機で飲料を購入すると売上金の一部が対象団体に寄付される仕組みです。



ペットリボン基金



メッシュサポート支援金



JOCオリンピック支援機



ピンクリボン支援金

### 地域貢献型自動販売機による 地域支援の仕組み

地域貢献型自動販売機でご購入



売上げの一部を活動資金として提供



2020年5月現在

| 主な地域貢献型自動販売機名称      |
|---------------------|
| メッシュサポート支援金         |
| ヤンバルクイナ保護活動支援金      |
| 全国肢体不自由児者父母の会連合会    |
| エイサー支援機             |
| 日本赤十字支援機            |
| 沖縄県交通安全協会連合会支援機     |
| ペットリボン基金            |
| ピンクリボン支援金           |
| 合同会社琉球インターナショナル     |
| JOCオリンピック支援機        |
| 沖縄県腎臓病協議会           |
| 豊見城龍船支援機            |
| 夢の貯金箱支援金            |
| ちやたん海のライフセービングクラブ   |
| ボウリング場協会支援金         |
| 沖縄県建設業協会那覇支部        |
| おぎやー募金支援機           |
| サンゴ支援機              |
| 一般社団法人九州沖縄道の駅ネットワーク |
| 浦添市社会福祉協議会支援金       |
| 沖縄県聴覚障害児を持つ親の会支援機   |
| その他                 |



### 3.豊かでやさしい地域づくりを目指して

#### 社会のニーズに応える

##### 地域の取り組みを支援 ～「5by20」～



コカ・コーラはグローバルで女性の活躍支援プロジェクト「5by20（ファイブ・バイ・トゥウェンティ）」を2014年より展開しております。日本では、2017年より全国の高校生や大学生を対象にしたキャリア教育を目的に「NPO法人 キーパーソン21」と協働し、「女子起業！わくわくプロジェクト」を実施しています。

2019年10月30日に県立豊見城南高等学校生を対象に、県内で活躍する女性起業家、株式会社ナンポーの安里睦子社長を講師に迎え、女性起業家による出張プログラムを実施しました。

安里社長の体験談を通して多様なキャリア形成の道を考え、自分と社会のつながりに気づき、自分なりのイノベーションを起こす機会につながったと思います。



ナンポー・安里社長



3学年生向け講演



各クラスでのワークショップ



##### スマイルと帰ろう ～事故・災害ゼロから「危険ゼロ」へ～



主要活動として、以下の削減を達成するべく実施をしています。

- ① 安全衛生委員会の開催と取組活動の実施
- ② 車両事故ゼロ、労働災害ゼロに向けた活動
- ③ 車輦事故指導の継続実施
- ④ 交通安全教育の実施
- ⑤ 消防訓練実施
- ⑥ 心身の健康保持・増進（産業医個人面談等）
- ⑦ 定期的な事業所安全パトロールによる職場環境の把握、改善

◆ 2012年より、中城小学校・幼稚園で地震・津波発生を想定した避難訓練が、警察・消防・教育委員会と合同で行われています。

訓練では、緊急連絡システムを使い、当社中部営業所の避難場所まで全校児童が避難します。

◆ 地元企業として今後も継続して協力していきます。



社内避難訓練



地震・津波を想定した合同避難訓練

# 会社概要

社 名 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社  
Okinawa Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.

設立 昭和43年2月22日

所在地 〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号  
TEL(098)877-5255(代表) FAX(098)879-4527

資本金 4億円

決算期 12月

販売地域 沖縄県

事業内容 コカ・コーラ等、清涼飲料水の製造販売

関係会社 株式会社 丸仁ホールディングス  
株式会社 琉仁カスタマーサービス  
R E X 株式会社

## ●お問い合わせ

### コールセンター

(月～土：9：00～21：00)

代表問合：TEL098-877-5255

注文受付：TEL098-879-7172

修理受付：TEL098-879-9781

## 役員（令和2年5月現在）

|         |       |
|---------|-------|
| 取締役会長   | 高橋 俊夫 |
| 代表取締役社長 | 城 英俊  |
| 取締役     | 城間 康範 |
| 取締役     | 新井 英寿 |
| 取締役     | 小山 良彦 |
| 取締役相談役  | 高梨 圭二 |
| 監査役     | 田中 行雄 |

## 執行役員

|        |       |
|--------|-------|
| 常務執行役員 | 嘉陽 功  |
| 執行役員   | 水野 竜太 |
| 執行役員   | 加島 純  |
| 執行役員   | 新垣 勇  |
| 執行役員   | 渡邊 一章 |

## 【事業所】

2020年11月現在

○浦添工場 098-877-5891  
沖縄県浦添市伊祖5-14-1

○機器サービス部 098-949-7882  
沖縄県南城市玉城字愛地727

## 【営業所】

○豊見城営業所 098-850-1029  
沖縄県豊見城市字我那覇493  
○中部営業所 098-895-5191  
沖縄県中城村字屋宜286  
○名護営業所 0980-52-2255  
沖縄県名護市大北1-23-35  
○うるま営業所 098-965-7000  
沖縄県うるま市石川伊波1472

○チェーンストア営業所 098-944-2011  
沖縄県浦添市伊祖5-14-1  
○フードサービス営業所 098-877-5373  
沖縄県中城村字屋宜286  
○宮古営業所  
沖縄県宮古島市平良字西里819-1  
○久米島出張所  
沖縄県島尻郡久米島町大田332-1

## 【グループ会社】

○(株)琉仁カスタマーサービス 098-895-6045  
沖縄県中城村字屋宜286  
○R E X (株) 098-942-7020  
沖縄県浦添市伊祖5-14-1



本社空撮（2017年12月）

## グループ会社紹介

# 株式会社 琉仁カスタマーサービス

## 自動販売機 総合オペレーター企業を目指して！

(人に優しく、環境に優しく、地域と共に)

当社では、お客様の各種自動販売機を一括管理をさせていただくことで、管理業務を簡素化し、質の高いサービスと豊富な品揃えの商品をご提供することが出来ます！



- ① コカ・コーラを中心に**他社の売れ筋商品**も買える自動販売機を取り揃えています！
- ② 軽食の**カップヌードル**、**カロリーメイト**なども買える販売機もあります！
- ③ 自動販売機の**電気代抑制**ができるタイプをご提案！
- ④ 自販機の**事務作業の軽減**、**セキュリティの強化**ができ、同時に**出入り業者も絞れます**！



# REX 株式会社

## 信頼される、自動販売機 オペレーター企業を目指して！

沖縄コカ・コーラグループの一員として、自動販売機のオペレーション業務を通して、高い品質で効率的且つ、安定的な業務を行い、信頼される企業を目指します。





今後の企業活動やレポートづくりの参考とさせていただくため、本レポートへのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

---

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社（コカ・コーラ指定会社） 人事総務部 CSR推進課

〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号

TEL. 098-877-5269 FAX. 098-877-5340

<https://www.okinawa.ccbc.co.jp/>

---